

NEWS LETTER

小村寿太郎侯東京奉賛会 広報誌

Contents

- ・ 明治 150 年記念「国書・親書にみる明治の日本外交」
- ・ 新旧会長挨拶
- ・ 臨時総会報告
- ・ 連載 小村寿太郎侯をめぐる人びと 平野 恵一
- ・ 9 月講演会案内 甲斐 睦教氏 「日英同盟と小村寿太郎侯」
- ・ ポーツマス手記 桝田 嘉生
- ・ 筑波 JAXA ツアー紀行文 大田原 瑞穂・御手洗 章子

VOL.8

2018
夏季号

平成 30 年 7 月刊行

展示 紹介

明治 150 年記念 「国書・親書にみる明治の日本外交」

外務省外交資料館にて 平成 30 年 1 月 11 日 (木) ～ 5 月 31 日 (木)

対等条約の実現

【展示史料 14】

明治 40 (1907) 年 7 月 9 日
アメリカ合衆国大統領セオドア・ルーズベルト (Theodore Roosevelt) より
明治天皇あて
駐日アメリカ合衆国特命全権大使オブライエン (Thomas J. O'Brien) の信任状

史料 14 は、セオドア・ルーズベルト米大統領が明治天皇に宛てて送った国書で、オブライエンを駐日大使に任命することを伝えたものです。ルーズベルト大統領は、日露戦争の講和会議を斡旋した人物として知られています。

陸奥宗光外務大臣の時代に各国と結んだ通商航海条約は、明治 44 (1911) 年に満期を迎えることになっていました。小村寿太郎外務大臣は、条約の規定に従い、明治 43 年、各国との新条約締結交渉を始めました。アメリカとの間でも交渉が行われ、明治 44 年 2 月 21 日、ワシントンで新日米通商航海条約が調印されました。そして、同年 4 月には東京で小村外相とオブライエン大使との間で批准書が交換されました。

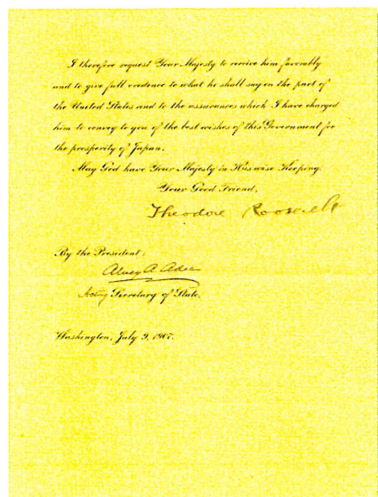
ついで小村外相は、イギリス、フランス、ドイツなど他の欧州諸国とも新条約を結び、残されていた関税自主権の回復に成功しました。

こうして、日本は幕末の開国から半世紀を経て、欧米諸国と条約上での対等の地位を得ることを達成しました。

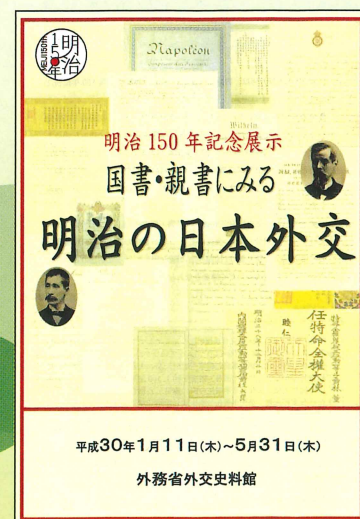


麻布台にある外交史料館で小村侯の展示をしているとの情報をキャッチし、4 月 6 日 金曜日の午後に見学に行きました。

以前に当会で講演をお願いし、お世話になっていた外交公文書編纂官の冨塚 一彦 様に案内して頂き、丁寧な解説をしてもらい、違う角度からの見方も出来ました。平日でもあり、館内は静かでゆっくりと見学出来、会期も好評につきひと月延長されるとのことで、第二弾も企画中とのことでした。



小村寿太郎



(外務省外交史料館明治 150 年記念
「国書・親書にみる明治の日本外交」展示史料) から転載



私は、先月「小村寿太郎侯東京奉賛会」臨時総会において、第2代会長として選任された下笠（しもおろ）直樹と申します。敬慕して止まない侯と同郷で、風光明媚な宮崎県日南市の出身であることを誇りに思っています。

今まさに、米国トランプ大統領の関税発言が国際的に問題となっていますが、当会は、明治の外交官としてポーツマス条約等輝かしい功績を残し、特に、幕末に締結した不平等条約を改正して、関税自主権を回復し、日本国を「一等国」に押し上げた小村寿太郎侯の遺徳の顕彰、偉業の伝承、人材育成並びに会員相互の交流及び資質の向上への寄与を目的として、平成24年12月12日に設立されました。

以来、川村蒼市初代会長のもと、この会の原点でもある、青山霊園の小村侯墓掃除（日南市からの管理委託事業）と墓参（汗を流した後のランチが会員相互の親睦を大いに深めている。）並びに講演会・対話形式セミナーの開催、終焉の地（葉山）等への親睦ツアーの催行、会報「NEWS LETTER」の刊行による会員相互のコミュニケーションの推進、日南市の「めざせ小村寿太郎国際塾」生徒による青山墓地墓参の受け入れ及び外務省外交史料館との交流等様々な活動実績を積んで参りました。特に昨夏は、訪れる人の多い青山霊園内で第1号となった「案内板」を会員有志自らの手で設置し、小村侯の顕彰に努めて来しました。

今後は、この路線を一段と充実感の伴ったものとして推進し、殊に、小村侯の生い立ちから、明治後期の外交官としての大活躍までを講演会やゼミナールを通して皆様と共に学ぶ姿勢を強調しつつ、地元日南市をはじめとする関係諸団体との交流を一層深めて、さらに将来、人材育成の観点から、大き過ぎる夢ながら「BEYOND KOMURA！」を目指す気概で臨みたいものと思っています。

平成30年3月31日現在の会員数は154名ですが、この度のホームページ開設により、さらに開かれた会として、宮崎県内は勿論のこと、全国から、また、全世界からの新しい会員を大いに歓迎したく、皆様のご入会を期待しているところであります。

平成30年6月吉日

ご挨拶

前会長 川 村 蒼 市



この会は発足5年になりました。多くの人のご尽力 ご協力によりそれなりの組織に発展することができました。

発足当時、初めて数人が顔を合わせて文字どおり海のものとも山のものとも見えず船出しました。お互い様この人は何者かどんな考えをもっているのかの思いでいたことが懐かしく思い出されます。

爾来 5年間にわたりお支え頂きました多くの人々に対し、先ずは衷心よりの御礼を申し上げます。

就中、事務局として支えて頂きました金丸さんの存在は特筆したいと思います。

発足以来私の思いは只一つでした。それは参加しているメンバーの和を保つことでした。株式会社や労働組合でもなく、只只小村侯への思いのみで成り立っている組織です。小村侯への思いはそれぞれです。なんらかの理由で私は辞めた、俺はやっていられないなどがあってはこの会は存在しえません。私はこのことのみを思っていました。今後ともこの思いは変わることはないと思います。新しく会長になられました下笠さんを中心に更なる発展を期待します。

つきまして二つの思いを申し上げます。

ひとつはNPO法人への登録です。申すまでもなくこの制度は非営利法人の健全な発展を行政が後押しをして社会を正しく発展することを目的にしたものです。私はかつてこの制度への登録をお手伝いしたことがあります。この法人の設立にはそれはそれは大変な苦労がありました。

役員のメンバーは・・・事務局は・・・会計は・・・などなどでした。

これらのことを思いますとこの会はこれらの資格を十分に有し、この会の為にNPO法人はあると申しても過言ではないと思います。登録しますと役所のなにかと監視 監督はありますが社会における信用は大きいものになります。この際 是非多くの意見を集約して法人への登録を提案いたします。

次にもう一つ提案します、

小村侯の資料の収集についてです。今本屋 図書館に行っても小村侯の本を探しても全く無駄なことです。私はよく古本屋に行きますがこちらも殆ど無駄足になります。

そこで提案です。本会の会員をはじめとして関係者が其々もっている本をはじめとしてあらゆる資料を一か所に集約できないかということです。当然ながらいろいろ問題がありますがそれぞれが所有し保管することのほうが更に深刻な結果になると思うわけです。

そんな思いから過日私が長年にわたり収集した資料を金丸事務局長に預けました。中には殆ど知られていない小村侯の戸籍謄本などもあります。是非、機会がありましたら見ていただきたいと思います。手元に置いておくと散逸の可能性があります。

是非 其々ご一考を頂きご賛同頂きますようお願いいたします。

臨時総会報告

抜 粋

平成 30 年 5 月 26 日（土）午後 2 時より 4 時まで東京都千代田区二番町 5-7 にある
ジャパンプロテクション株式会社 3 階 会議室にて臨時総会を開催しました。

会員 154 名の総会案内に対しまして、委任状 68 人、出席者 26 名により本臨時総会が成立、
川村会長に議長をお願いし、以下の 4 議案につき審議しました。

第 1 号議案 規約の一部改正について

第 2 号議案 役員の改選及び選任について

第 3 号議案 事業年度変更に伴う収支報告及び会計監査報告

（平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

第 4 号議案 平成 30 年度予算（案）

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

審議の結果、全て原案通り承認されましたことをご報告します。役員改選に伴う新役員は
以下のとおりです。

小村寿太郎侯東京奉賛会 役員名簿

会 長	下 笠 直 樹	最 高 顧 問	高 山 弘 憲
副会長 兼 幹事長	桒 田 嘉 生	相 談 役	川 村 蒼 市
副会長 兼 幹事（セミナー）	郡 司 聡 視	顧 問	小 野 司 市
監 事	石 崎 國 雄	顧 問	鬼 束 幸 良
幹事（広 報）	横 山 敏 廣	顧 問	福 田 昭 水
幹事（ツ ア ー）	井 上 榮 子	顧 問	島 田 修
幹事（渉 外）	黒 木 公 子	参 与	岩 切 栄 一
幹事（会 計）	吉 田 千 草	参 与	田 原 宜 輝
事 務 局 長	金 丸 博 司	参 与	中 原 年 男

小村寿太郎侯をめぐる人びと

最終回 高平 小五郎



会 員

ひらの けい いち
平 野 恵 一

岩手県出身

宮崎が生んだ日本の誇り小村寿太郎侯と岩手の高平小五郎との友情は、明治維新直後、小村侯は宮崎・飢肥藩から、高平は岩手・田村藩から貢進生として進んだ大学南校に源流を発する。

小村侯は常にトップクラスであったのに反し、高平は、成績は上位ではなかった。卒業時、小村侯を含む上席者 11 人に許された米国留学組に高平は入っていない。しかし、高平は、大人びていた言動で堂々としていて、読書に熱心で多方面の事情に詳しく論客であった（『日本人名大辞典』講談社 2001）。

小村侯をはじめ他の学生と高平との大きな違いは、高平は、近代国家誕生の産みの苦しみ、明治維新の折の内戦、戊辰戦争・秋田戦争に従軍し、官軍と戦い、九死に一生を得る大負傷をしていること、即ち武士として、刃の下を体験し、死地をくぐりぬけてきた強者であり、戦争の過酷さと敗戦、朝敵のつらさと屈辱を背負って、ここに来ている事であった。

高平は、小村侯が生まれる 1 年ほど前の 1854・安政元年 1 月、田村藩の医師田野崎三徹の三男として一関に生まれ、10 才になると田村藩藩士で、『平泉志』（国立国会図書館で貴重本として保管）を公にし、世界文化遺産となった平泉研究の祖、高平真藤の養子となり、高平小五郎となった。高平は養父が教える藩校・教成館で学び、元服・一人前の武士となった年が明治維新であった。薩長を中心とする西軍・官軍の福島・会津藩への対応が武士道に反するとして東北の諸藩は奥羽越列藩同盟を結成、官軍と鋭く対立。同盟の盟主は明治天皇の叔父・能久親王。親王は東武皇帝として仙台にまでお出まし。こんなこともあり同盟の意気は盛んであった。そんな中であって、秋田・佐竹藩が官軍に寝返つたとして、仙台を中心とする伊達藩、一関を中心とする田村藩、盛岡を中心とする南部藩はそれぞれ秋田領に攻め入り、官軍と激しく戦う、これを秋田戦争と地元ではいう。高平は田村藩の最年少藩士として戦い、敵地の最前線で肉薄戦となって大きな負傷を負い、命からがら一関に戻る。この負傷が遠因で後年、高平は外交官となってから「耳が遠い外交官」と称される（『朝日新聞』1909.9.3）。しかし、高平はこの戦いで負傷し大きな痛手を被ったにもかかわらず、一切不満を述べていない。それはあたかも、小村侯の戦友として対露外交を展開し、侯と共に全権となった日露講和会議で、ロシアから賠償金を取れなかったことに対する、一部学者や政治家の煽動による国民的不満、所謂「日比谷焼き討ち事件」が発生した時も、小村侯と共に一切弁解しなかった姿勢と相通じる。一旦決断したことについては、その結果、万一不利益を被ってもそれを甘受するという真の勇者の姿がそこにはあった。

大学南校を卒業した高平は、社会インフラを所掌する工部省に務めるが、2 年ほどで外務省に移り、小村侯がハーバード大学を卒業した翌年、最初の海外勤務地としてワシントンにある日本公使館に赴任する。特命全権公使は鹿児島出身の吉田清成で、高平は彼から外交官としての初年兵教育を徹底的に仕込まれる。吉田公使は高平の才能を高く評価し、ワシントンを去るに当たっては、高平を臨時代理公使とする。

その後、高平は鮮国公使館の書記官や上海領事を務め、天津事件の頃には初代の政務課長となり、翻訳局長となっていた小村侯と共に天津事件対応のため、外務省内に設置された「天津事件対応調査委員会」の委員として、二人は学校卒業以来初めて、一つ屋の下で外交案件に取り組んだ。本件ではロシアとの外交断絶もなく、平和裏に解決できたことは事務方としての二人の外交努力があったからだ。事件後、高平は総領事としてニューヨークに勤務、そのまま帰国することなく、オランダの弁理公使、そして、日清戦争当時にはイタリアの特命全権公使となって、欧州列強の動きを時の外務大臣陸奥宗光に報告、陸奥は自身の外交メモリアル『蹇蹇録』（岩波文庫 1983）で、国策決定に重要な情報であったと高平からの電報・情報を高く評価している（P315～362）。下関講和条約成立後、高平はオーストリアの特命全権公使となり、外務大臣となった大隈重信の要請に基づき、「外交と軍隊は、国家にとって車の両輪である。実際の外交にはカネがかかる、立派な外交を行うには軍事費に負けない外交予算が必要。案件が発生してからの泥縄式外交は効果が上がらないのみならず、関係国からバカにされるので常日頃の外交努力が必要。」等を記した 5 千字からなる外交建白書を大隈外務大臣に提出している（外務省外交史料館保存）。その後、外務次官となり、女房役として、世界、特に英国から高く評価された北清事変対応に専念。この時の日本の行動・姿勢が在清国英公使マクドナルド（その後、在日本国公使）をして、日本は、力もあり、頼りにたる国であり、英国のアジア政策にとって、欠かせない国であるとの認識を高めさせ、日英同盟を生む背景となった。

次官の後、高平は、小村侯の後任として米国の特命全権公使としてワシントンに入り、日米友好親善に全力を尽くす。急成長を遂げている巨人米国の日本への理解を一層深め、好日感情を醸成する絶好の機会と高平が捉えたのが、1904 年、セントルイスで開催される万国博覧会であった。高平は大統領と国務長官からの要請に基づき、是非参加すべきことと、明治天皇の名代として皇族のお出ましを小村外務大臣へ強く要請した。小村大臣は高平からの具申を良として、侯が主導して万博参加と伏見宮のご名代出席を閣議決定した。日本国はロシアとの開戦直前か戦中であったが、日本ピーアールのため全力

を尽くした。その一つが講道館の山下義韶のワシントンでの柔道の妙技披露であった。これに感動したのがセオドア・ルーズヴェルト (T.R) 大統領である。大統領はホワイトハウス内に畳を敷いて道場を作り、山下を先生として迎え、柔道に励んだ。講道館で柔道を学んでいたのが日本公使館付き海軍武官・竹下勇少佐、後に海軍大将である。竹下は山下の弟子として大統領と同じ門弟という名目で、ホワイトハウスへの出入りが木戸ご免となり、何時でも大統領と連絡が取れるようになった(『海軍の外交官 竹下勇日記』 編者 波多野勝 外 3 名 芙蓉書房 1988。P10~14)。

即ち、日本公使館・高平は、正規の外交ルートを経ずして大統領と直接連絡が出来るホットラインを構築することに成功した。

また、この万博がらみで、はからずも、小村侯の高平謁が示された。

ご名代・伏見宮が万博に出席するため日本を出発したとの小村外務大臣からの電報を受けた高平公使は、宮を迎える最終準備のためワシントンからニューヨークへ出張、そこで急性盲腸炎となり、宿泊中のマジェスチック・ホテルで 3 人の医師により緊急手術、手術は成功、2~3 日の山場を超せば 2~3 ヶ月で復帰できるとの医師の判断。之を受け、書記官筆頭・日置益一等書記官、後にドイツ大使は、この状況の報告と、公使が復帰するまで自分が臨時代理公使として留守を預かりたいとの内容を電報で小村大臣に請訓した。この時の本省の担当課長・電信課長、後の米国大使、外務大臣、総理となった幣原喜重郎は電報を持って大臣室へ行った様子を次のように述べている。「大臣は即座に臨時代理公使の件をお許しになり、続いて、高平はカネがなくて困っているだろうから、君、何とかしてやってくれ。高平はカネなど蓄める趣味のない男だからなあー」とおっしゃったと(『岩手日報』1951.1.1「回想の高平小五郎 幣原喜重郎」)。

当時高平のもとには対米工作資金として莫大な外交機密費があったものと想像されるが、高平はこのような公金を一銭でも私事に使うような男ではないことを大学南校以来の友人小村侯は見抜いていた。これほど高平の本質・根本を知り尽くした人があるだろうか、まさに「士は己を知る者のために死す」という言葉が思い出される。

更にもう一つ加えれば、ご名代として全ての公務を終えられた伏見宮は、ニューヨークを去る直前、病とは言え、ふがいなさに涙で濡れてベットに横になっている高平をホテルに見舞われた(『朝日新聞』1904.1.14「伏見宮と紐育」)。高平がどんなに感激したか想像に余りある。これは、小村大臣の九重への働きかけがあってこそ実現したものと、推測すると、侯の弱き友・病床の高平に対する友情の深さを知る。

全権としての小村外務大臣と高平公使はポーツマス講和条約に調印した後、小村侯は東京へ。高平はワシントンに戻り、その批准書をロシア大使と交換して、在米日本国公使としての最後の仕事を終え、帰国。公使館は大使館に昇格、初代大使には青木周蔵が就任。高平はしばらくしてイタリアの初代大使としてローマに赴任。そのころから米国の対日感情が悪化し、新聞でも日露戦争の後には日米戦争かと報じられる。青木ではこの解決は出来ないと、青木は更迭され、後任にイタリアの高平大使が拔擢される。

高平は日本に一時帰国することなく、ローマからロンドンに向かい、在英大使となっていた小村侯と十分なる打ち合わせの上、ワシントンへ。

高平は、外務大臣へ再任された小村侯の指揮のもと、期待に応えて、日米友好を再確認した「太平洋方面に関する日米交換公文、高平・ルート協定」を国務長官ルートとの間で締結する。

この協定を含むこの時期の日米外交を米国は高く評価している。特に知識人、学者の間でその傾向が強い。例えば、1950 年にエール・Yale 大学総長となったグリズウォルド・Griswold がまだ准教授の頃公刊した『合衆国の極東政策・The Far Eastern Policy of the United States』(未邦訳 1938 N.Y)で、この協定は極東平和のために、日米の役割分担を決めた現実主義的政策の成果で、歴代米国外交が手本とすべき、日米外交の輝かしい結実であり、1922 年、ワシントンで成立した「中国に関する九カ国条約」とコインの裏表をなすと、論じている(同書 P127 や 129 など)。

しかし、この条約は、1931 年の満州事変、1937 年の日中戦争を経て 1941 年、真珠湾攻撃で始まった日米戦争を残念ながら阻止出来なかった。国際平和は、条約の「条文・字面」ではなく、人と人、国と国との信頼関係が如何に大事かを歴史は教えている。

このような背景も有り、小村・高平に対する米国での評価は高い。

小村侯と高平の勇姿に会いたくなったら、1937 年から今日も一般公開されている、ニューヨークのど真ん中に所在する『アメリカ自然史博物館 T.R 記念大ホール』の「ポーツマス講和会議想像大壁画」の前に立つことだ。

大壁画の中に輝くお二人を仰げば、勇気と知力と友情が湧いてくる。

講演会開催 のお知らせ

開催日時	平成 30 年 9 月 8 日(土) 14:00 ~ 16:00
会場	東京都千代田区二番町 5-7 ジャパンプロテクション株式会社 3 階 会議室
講師	甲斐 睦教 氏 1954 年(昭和 29 年)宮崎県延岡市に生まれ、東京大学教養学部国際関係論分科卒。 宮崎県庁勤務。退職後、現宮崎産業経営大学法学部教授
演題	「日英同盟と小村寿太郎侯」
講演概要	1 日英同盟の震源 2 日英接近の契機となった中国の事変 3 日英両国の同盟決断の過程 4 小村寿太郎外務大臣の活躍 5 日英同盟の意義と小村侯の功績

小村侯ゆかりの地、米国ポーツマス・ハーバード大学訪問記

このたび、司馬遼太郎記念館交流ツアー『ポーツマス&ニューヨーク 8 日間』に参加し、小村侯ゆかりの地を訪問しました。ニューハンプシャー州ポーツマスは、ボストンから北方、バスで高速道路約 1 時間半。美しい海辺の入り江の多い避暑地です。

特に小村侯が日露講和条約締結会議で活躍された赤レンガの建物は現在も海軍基地内で大事に保管されていました。同建物は通常一般に公開されていませんが、今回特別に内部まで見学できました。このほか小村侯の使った椅子等が展示されているジョンズハウスミュージアムや日露関係者の宿舍ホテル等を訪問。特に小村侯が会議中座っていた椅子に座ってみるなど、古（いにしえ）の雰囲気に入ることができて最高でした。



海軍工廠第 86 号ビル前記念写真



ホテル・ウェストン・バイ・ザ・シー
(全権大使が宿泊した歴史あるホテル)



ボストン・ハーバード大学・ロースクール図書館



海軍工廠第 86 号 2 階内部



小村寿太郎侯が座った椅子に、筆者

翌日、若き小村侯が留学で過ごしたボストン・ハーバード大学を訪問。広大な構内のうち、彼が 3 年間学んだ「ロースクール図書館」の内部を同館の日本人司書の本宿さんにくまなく見学させてもらい、環境の素晴らしさに感嘆しました。

(栢田嘉生記)



筑波宇宙センター見学



宇宙人との出会いを求めて



T X (首都圏新都市鉄道=つくばエクスプレス) は定刻に秋葉原を離れた。一路、筑波研究学園都市を目指し、つくば駅まで平均時速 127 キロメートル、45 分間で着く。

車内の揺れと騒音は上海浦東空港から出るマグレブライン (時速 450 キロ) と同程度の耳障りだった。いずれも高架軌道だからか？窓外の景色はダダッピロで関東平野そのものだ。九州の深い樹林で多彩な変化を魅せる楽しみはない。さて目指す筑波宇宙センターに近づくと眼に飛び込んでくるのは純国産の『H-II ロケット』の巨大な横たわった雄姿だ。全員で記念写真撮影。

全長 49.9M 直径 4M 質量 264 トン 開発費 2,750 億円
打ち上げ回数 7 回 (成功 5 回) 開発者 NASDA・三菱重工
使用期間 1994 年～1999 年 打ち上げ費用 190 億円

実験棟「きぼう」は巨大なドームの中に宇宙ステーション補給機「こうのとり」と共に展示され、「きぼう」は実際に中に入る。ご年配のガイドは該博な知識で情熱をもって説明し、聞く者をしてタジログ程であった。「ミッションコントロールルーム」ではナマの緊張感を味わった。今、wikipedia でその映像を見る事が出来、改めて宇宙との繋がりを再びヒシヒシと感じることが出来た。この企画の立案から案内、ご指導頂いた松田純夫氏には心より感謝申し上げます。又最後までお付き合い誠にありがとうございました。

大田原 瑞穂

『宇宙への夢、ふたたび』

私の小学生時代は、テレビコアの『私はカモメ』、ガガーリンの『地球は青かった』、アームストロング船長の『アポロ 11 号の月面着陸』、両親と訪れた大阪万博の『アメリカ館のアポロ 8 号の司令船とアポロ 12 号が採取してきた月の石』に、テレビから目が離せなかった『アポロ 13 号の感動の無事生還』と、いつも身近に感じていた宇宙。それを思いだした一日でした。

スペースドーム見学、クロスワードパズルにスタンプラリー、1 番わくわくしたのは NASA とリアルタイムに繋がっているオペレーションセンターが見られたこと。

大型画面に映し出されたリアルタイムの地球の映像、筑波と NASA のオペレーションセンターで実際に働いている方々、まさに夢のような光景、聖地を垣間見た感じでした。

帰りに、NASA で使われていた宇宙服にダ・ヴィンチの『ウィトルウィウスの人体図』のワッペンが付いていたので係の人に質問しましたが解明できなかったのが心残りです。

また、宇宙の事、夜空の星を見上げながら学んでみたいと思いました。

御手洗 章子



小村寿太郎侯東京奉賛会

〒130-0026 東京都墨田区両国 1-14-10-801 電話 03-3846-9030 FAX 03-6659-3084

E-mail: kanemaru.hiroshi@orchid.plala.or.jp 振込先: ゆうちょ銀行 店番 008 普通預金口座 1191854 名義 小村寿太郎侯東京奉賛会